講座№16101(改)

こころの臨床・専門講座１

ブリーフセラピー入門／エレガントな介入

**期　　日：２０1６年6月1８日（土）～１９日（日）**

**受講対象：臨床心理士・看護師・保健師・心理職・相談員等の方で、医療・相談・福祉・教育**

**に関わる専門家、学生、および関心のある方**

**定　　員：60名**（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認願います）

**受 講 料：１２,０００円**（税込み）　 ※昼食は各自でお手配願います

**主　　催：公益財団法人　明治安田こころの健康財団**  03-3986-7021

**会　　場：明治安田こころの健康財団　8階講義室** ※詳細地図は受講証に添付いたします。

東京都豊島区高田3-19-10

ＪＲ山手線、西武新宿線、地下鉄東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

1-4-14TEL：**後　援**

後援：宮城県・宮城県

*講 師 紹 介（敬称略）*

\*\*\*\* 企画講師　長谷川 啓三：教育学博士、ITC家族心理研究センター代表 \*\*\*\*\*\*\*

出講講師　水谷 久康：愛知文教女子短期大学教授（教育臨床）、ITC幹事

若島　 孔文：東北大学大学院准教授（臨床心理学）・国際家族心理学会理事

日本のブリーフセラピーは1986年にドシェーザーとバーグ夫妻の来日から大きく広がってゆきます。

講師の一人が米国で訓練を受け、来日を依頼したところから始まりました。その後は彼らの出自であるMRI研究所の先生方を相次いで招聘しました。

ワツラウィック、フィッシュ、ウィークランドです。ブリーフセラピーは現在では専門家の間に大きく広がりましたが、2011年3月11日の東日本大震災での支援の中で、その力を試されました。講師らはまざまざとその力を実見し、展開を工夫しました。この2日間はブリーフセラピーの基礎からそんな展開まで、体験的に学びます。

ライブで問題解決をお見せします。担当は、帰ってきたあの３人のおじさんたちです。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ***プログラム*** | 日 程 | 時　間 | テ ー マ | 講　師(敬称略) |
| 6/18  （土） | 10:30～13:00 | ブリーフセラピーの直伝と展開 | 長谷川 啓三 |
| 14:00～16:30 | 構成主義からブリーフセラピーを俯瞰する | 水谷 久康 |
| 6/19  （日） | 9:30～11:30 | ライブセッション | 出講講師陣 |
| 12:30～15:00 | シンプルにＳＦＡを実施するためのワーク | 若島　孔文 |

※ 時間割・テーマ等は、多少変更となる場合があります。その際はご了承願います。

事前に皆さまから事例を募集いたします。本講座の模擬面接で検討してほしい事例（発表用にケースをまとめる必要はありません）をお持ちの方は是非ご提供ください。

申込書の「事例提出希望欄」に○印をつけお申込みください。その際、日中連絡が可能な手段・方法を必ずご記入ください。財団から提出方法をご連絡いたします。なお、採用されない場合や時間的制約で問題全てにお答えできないこともありますので、予めご了承ください。

事例募集について